

路地百選推薦書

推薦者氏名：松富 謙一

推薦する路地（のまち）の名称		法善寺横丁（織田作之助の路地シリーズ1）	
所在地		大阪市中央区道頓堀	
【推薦する理由（路地のよいところ）】 織田作之助の歌碑「行き暮れてここが思案の善哉かな」がこの横丁にあります。 小説「夫婦善哉」の舞台である大阪の観光スポットとして、あまりに知られるところです。4年前、中座の火災で類焼しましたが、横丁を元に戻したいと願う商店主や市民の熱い思いから、2.7m の路地幅員のまま商店が復興されました。 水掛け不動から長さ 80m、幅 2.7m の 2 本の路地が東西に延び、両脇に喰処や酒処が建ち並びます。 「たのんまっせ不動さん、絶対願い叶えてや」と柄杓で水を掛けて祈ったあとは、鮮やかな赤提灯に惹かれ、水の滴る石畳を千鳥足。しっとりとして艶ある路地は、現代の蝶子と柳吉が似合う魅力ある空間です。			
【写真添付】			
			
路地	面積	約	h a
の	まちの	路地の延長	
成り立	ち、	約	
まちの	特色等	80m	
概要		法善寺は、1637年開山の浄土宗の寺院で、山号は天龍山といいます。千日前や道頓堀からこの法善寺にお参りする横丁が法善寺横丁で、角座や中座など、いわゆる「道頓堀五座」の芸人や客を相手にする屋台が、法善寺の境内に集まったのがはじまりといわれています。	

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。